



- ★被災地等を支援する【JOSOたすけあい基金】は注文番号500253 1口500円にて毎週受け付けています。ご協力よろしくお願い致します。
- ★関東子ども健康調査支援基金【寄付】 注文番号:500252 1口1000円～にて毎週受け付けています。ご協力よろしくお願い致します。
- ★東海第二原発差止訴訟基金【寄付】 注文番号:500251 1口500円にて毎週受け付けていますご協力お願い致します。
- ★JOSO脱プラ基金は注文番号:500254 1口500円にて毎週受け付けていますご協力お願い致します。

2022-23年度活動テーマ「つくと食べるでつながろう ～私たちの地産地消～」

## 令和6年能登半島地震への義援金協力を、お願いします。

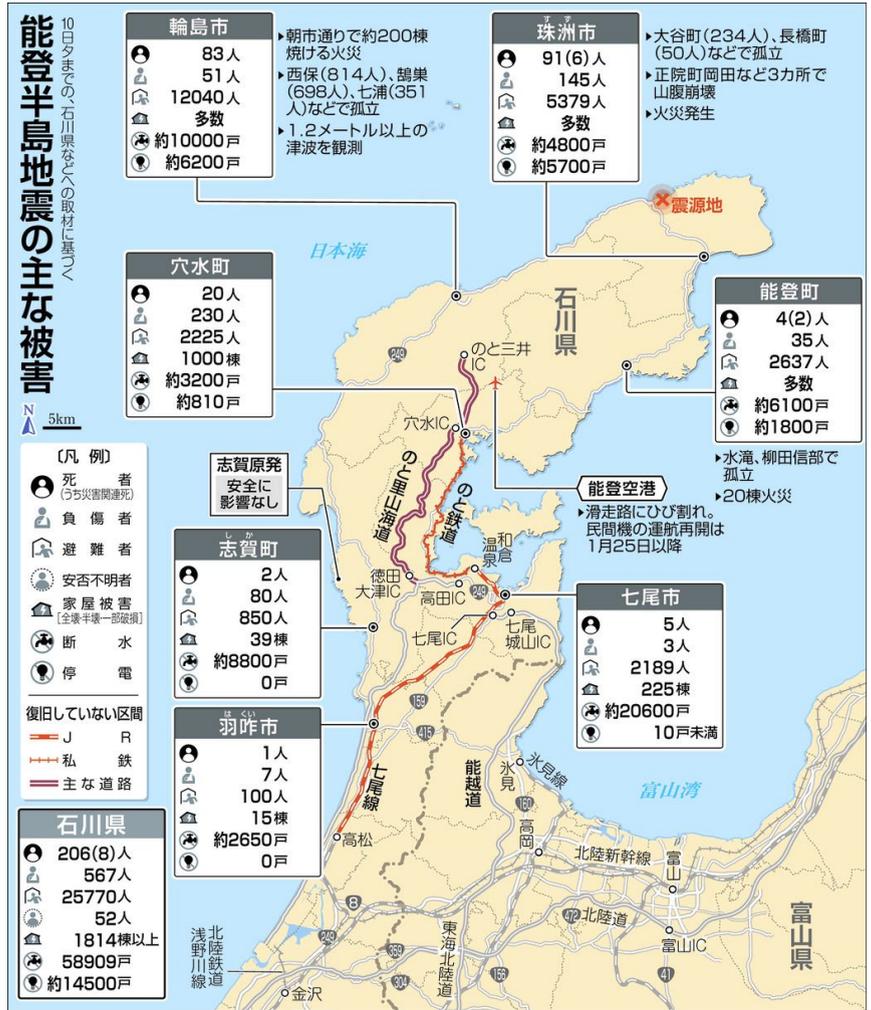
▼参考資料:2024/1/10 中日新聞

この度、能登半島地震によって被災された皆様に心からお見舞い申し上げます。

幸いにも常総生協の生産者・メーカー、関係団体等で人命に関わる大きな被害はありませんでした。茨城県生協連を通じて、コープいしかわの職員さんが2名亡くなられたという報告がありました。とても胸が痛い想いです。

現時点で被災地に行って支援活動を行うことが困難な状況と、特に今回の地震による被害は家屋の倒壊が激しいことから、被災された方々の役に立ってもらえるよう、義援金を集めて支援をしていきたいと思います。

★被災地等を支援する【JOSOたすけあい基金】は注文番号500253 1口500円にて毎週受け付けています。ご協力よろしくお願い致します。



1月～2月末までに集まった【JOSOたすけあい基金】を義援金の対象としていきます。皆様のご協力、ご支援宜しくお願い致します。

### 2024年1月の予定

○生協基幹運営/地域活動・催し●	○提携・協同・連帯企画●
○「常総っ子応援団」ゴンタで遊ぼうin流星台プレイパーク ※毎週木曜日に外遊び活動をしています！(1/4はお休みです)  ・1/20(土)歴史講座、ニッコー学習会 ・1/24(水)脱原発とくらし見直し委員会 ・1/27(土)プレス・オールタナティブ(チョコ・カレー)講習会 ・1/31(水)定例理事会	・1/26(金)～27(土)NW21総務担当者会議

[うれしいぬか床]の原料海水塩を製造している、石川県輪島市の(株)美味と健康の代表、橋本三奈子さんより現況報告と現地レポートが届きました。

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。  
このたび、「令和6年能登半島地震」では、ご心配をおかけしております。  
橋本は、年末年始に東京の実家に逆帰省していたため、パソコンやキャッシュカード一部も持参しており、仕事はできる状況です。  
製塩所の建物や装置は地震や家事の被害を免れることができ、無事でしたが、現在は、停電中で稼働はできません。また、営業所として使用していた店舗兼代表取締役 橋本の住居が輪島朝市通りにあったため、全焼してしまいました。決算書などの紙の書類や実印等はそちらに保管してありました。  
製塩士は、輪島市街地で避難して無事ですが、ニュースで報道されている倒壊した7階建てビルの、道を挟んだ正面に耐震の自宅があったため、建物は無事ですが、余震による近隣住宅の崩壊の恐れなどで、ずっと車中泊で過ごしていました。現在は、家族で家に戻って暮らしています。水やガソリンは、交通規制が始まる前に、知り合いに運んでもらった、ということです。  
道路の亀裂やマンホールの隆起などで、道路事情が悪く、金沢・富山方面から輪島市に通るルートが緊急車両に限られています。港も破壊があり、土地が隆起してしまっていて、自衛隊の船さえつけられません。  
市街地内でも、避難所から製塩所へ行くためには、川を渡る必要があり、4本あった橋が1本しか使えない状況でした。現在は、3本まで使えるようになったということです。  
電気が復活し、海水が取水できるようになったら、製塩をはじめます。道路の復旧→重機→近隣の建物のがれき撤去→電信柱修理、という順序になると思いますので、復旧がいつになるのか、そのメドがたたない状況です。  
しばらく、ご迷惑をおかけいたしますが、なにとぞ、ご了承のほど、よろしくお願い申し上げます。

敬具

## 輪島市内の様子

▼弊社営業所跡(輪島朝市通り)



▼道路の状況※金沢から輪島への道路



▼隆起したマンホール



▼製塩所外観  
奇跡的に製塩所の建物は無事。



製塩所から100mほどの店の横



【組合員さんから頂いた情報です。現地の人の声】 能登を守って（能登地震のさなかで）

1月1日の夕刻、かつて経験したことのない大きな揺れに飛び出した目の前で 家が大きく揺れ続けていた長い時間。本棚もタンスも倒れて壊れ、散らばった家の中で子ども達、孫達と犬さえも震えながら、度重なる余震に怯えた不安な一夜。ようやく明けた朝、ヘリコプターの爆音、鳴り響くサイレンに、情報がない中で10km近くにある原発は大丈夫？と不安は募るばかりでした。

志賀原発差し止め訴訟では、国に追従し判断を避ける裁判所、北陸電力の言い逃れは、原発直下の断層を、活断層ではないとし、再稼働に向けて、進んでいます。

大きく波打ち、揺らいた能登半島・・・抗うことのできない自然の力の前で、外部電源一部喪失や、変圧器油漏れ等も、またしても 安全だと言い繕う隠す体質に、不安は拭えません。

福島信じられない大事故に、すべてを失った方たちの深い絶望感や「せめて教訓として・・・」と、絞り出すような訴えにも耳を塞ぎ、何を狙っているのでしょうか。

亡くなられた多くの方々、全壊、半壊の家の下の数えきれない方達、孤立したまま連絡の取れない地域や、不安に震えながらの避難生活・・・

余りにも甚大な被害、復興のとてつもない困難を前に、言葉がありません。

辛抱強く、様々な困難をも耐えてきた能登・・・素朴な暮らしを手渡してきた恵みと優しさにあふれていた、いのちの半島・能登・・・

— どうか、どうか、守ってください —

東海第二原発差し止め訴訟 控訴審 第2回口頭弁論のお知らせ

期日：2月20日（火）15：30～ 場所：東京高裁101号大法廷

※主張項目、参加者集約、当日の集合時間、スケジュール等は進行協議（1/12予定）が終わり次第お知らせ致します。

（この間の動き）

1. 原告側の主張立証計画を高裁に提出しました（9/1, 12/19）。
2. 原電による事故時の「拡散シミュレーション」を県がようやく公開（11/28）。県はこのシミュレーションをもとにして「最大 17 万人避難の想定で避難計画の実効性を検証する」とした。これに対して原告団として「見解」を発表しました（11/30）。原電拡散シミュレーションの欺瞞性について県の広域避難計画の検証とあわせて控訴審でも主張する予定です。
3. 防潮堤工事の不良が発覚（10/16）。原告団でもこの問題についての調査を行い、今後の追及を検討しています。控訴審でも原電の「品質管理・保障能力について」、「新検査精度」および規制委員会の監視欠如について主張する方向で準備中。
4. 東海村長が避難計画を年内を目標に発表することを表明した（9/13）。東海村避難計画に実効性がないことについて東海村で開催された住民集会で準備書面（1）（2）を元に報告しました（12/2）。東海村議会は住民が提出した再稼働反対の請願 3 件を否決、村商工会などが提出した再稼働賛成の 3 件の請願を採択（12/16）。
5. 原告団では年度内に公表される「東海村避難計画」「日立市避難計画」に実効性がないこと、ならびに原電拡散シミュレーションをもとにした「県広域避難計画」検証は根拠がないことについて控訴審での主張の準備をすすめています。

# 理事会よもやま通信

発行 常総生活協同組合理事会  
TEL0297-48-4911  
FAX0297-45-6675

常総生協はみんなの「ほしい！食べたい！知りたい！」を応援します

## 流星台プレイパーク【鶏の丸焼き】報告

二〇二三年、十二月二十一日は、年内最後のゴンタで遊ぶ流星台プレイパークの活動日でした。クリスマス前のこの日、構想二年越しの【鶏の丸焼き】を行いました。

ゴンタの丘から現在の流星台プレイパークに移転して間もなくコロナ禍に突入。感染対策を取りながら、外遊びを継続していましたが、「みんなで作ってみんなで食べる」煮炊きはどうしても中止せざるえない状況でした。「公の場所で火が使える」特徴を生かすべく、立派な煮炊きができるスペースをつくれば市側で作っていただいたのに、十分に生かされぬ悶々とした日々。一緒に遊ぶ子どもたちと「煮炊きができるようになったら、何つくろう？」と、日々考え、想像が膨らみ続ける木曜日を過ごしていました。

「これだけ立派な煮炊きスペース。何か、『丸焼き』したいよね？」  
「牛？豚？大きすぎる？」  
「大きさから考えると仔豚？ネットで買えるけど二万円ぐらいするしな…」

「生協は毎年、生協まつりで『豚のモモ丸焼き』やるよ。豚モモなら生産者さんから有償で分けてもらうこともできるけど…丸焼きではないか？仔豚も不可能ではないけど…豚舎の掃除とか、生まれたての仔豚も実際に見てるし、夜通し出産を見守る生産者さんの気持ちや想いと『仔豚の丸焼き』は無理無理、超絶無理だわ〜」  
「などなど、暖をとるために付けた火を前にしてあれこれと考え続けておりました。そして、一昨年、

「やっぱ、最初から大物に挑戦するよりは…まずは鶏ぐらいから。それで上手くいったら、次のステップに進もう！」となったのですが…考え抜いた精鋭部隊の日程が合わず、次の年に持ち越しとなり、ようやく年末に実現することができました。

奇しくもタイミングばっちり、クリスマス用の丸鶏がカタログに掲載中。地元につくば鶏を発注し、計画実行当日は、完璧な火加

減にするために、いつもより早めに集合して、長年の煮炊き経験から得た炭火を準備。この日のために生協から借りた豚モモ丸焼きに使うくるくる焼く機材にセットして、いざ丸焼き開始！！

くるくる回すこと一時間半、外側の皮目が色づき始めたころ、中まで火が通るようにオイルで蒸し焼きに。別班は一定の火加減を保つために炭火を作り続けるとともに、クリームシチューパスタ作りにも余念がありませんでした。

開始から二時間半、ぼた〜と程よい脂のしたたりにオイルを外し、今一度、外側の焼き目を入れたところで、火から鶏を下して、皆が食べれるように切り分けました。モモ肉のあたりが火の通りが甘く、網の上に置いて追加焼きしましたが、初挑戦にしては上々の出来上がりでした。「うわ〜」「すごい」「こんな丸焼き初めて見た〜」「おいしい〜」とスマホ

シャッター音の中、来園者と分け合って、骨までしゃぶって、骨も火にくべて、最後まで、

おいしく命をいただきました。何気ない日常の中の『非日常』に、丸焼き参加者一同、  
「今日はほんとに楽しかった」と笑顔いっぱいでした。

そして：「次は何にする？」と次の【丸焼き】計画を考えられています（笑）。  
(増本)



常総生協が好きだ！

『理事会よもやま通信』へのご意見・ご感想は、OCR用紙の「意見・要望・連絡欄」、ネット注文の方は「ご意見のページ」にご記入をお願いいたします。